

<YS:MapToCopy> 修正、変更点

頂点座標チェック処理の改善

頂点座標のチェック処理を修正、座標が重複している頂点なども正しく処理するようになりました

閾値の単位変更

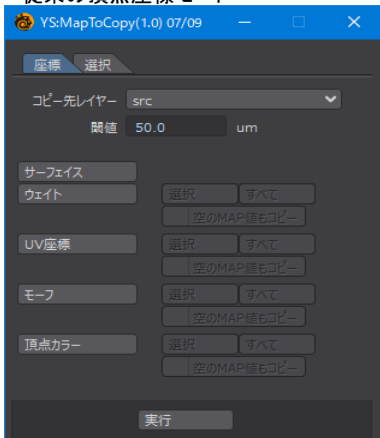
閾値の指定単位をミリメートルからマイクロメートルに変更、より頂点の密集しているモデルにも対応しました

追加機能

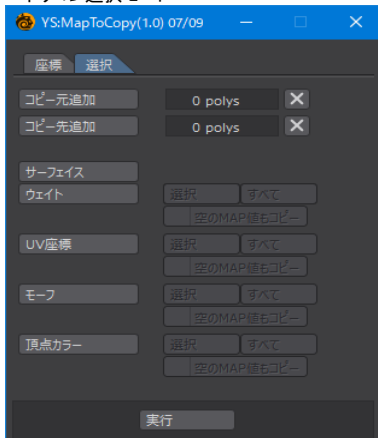
ポリゴン選択モード追加

従来の頂点座標を比較する方法に加えて、任意のポリゴンを選択して処理するモードを追加しました

・従来の頂点座標モード



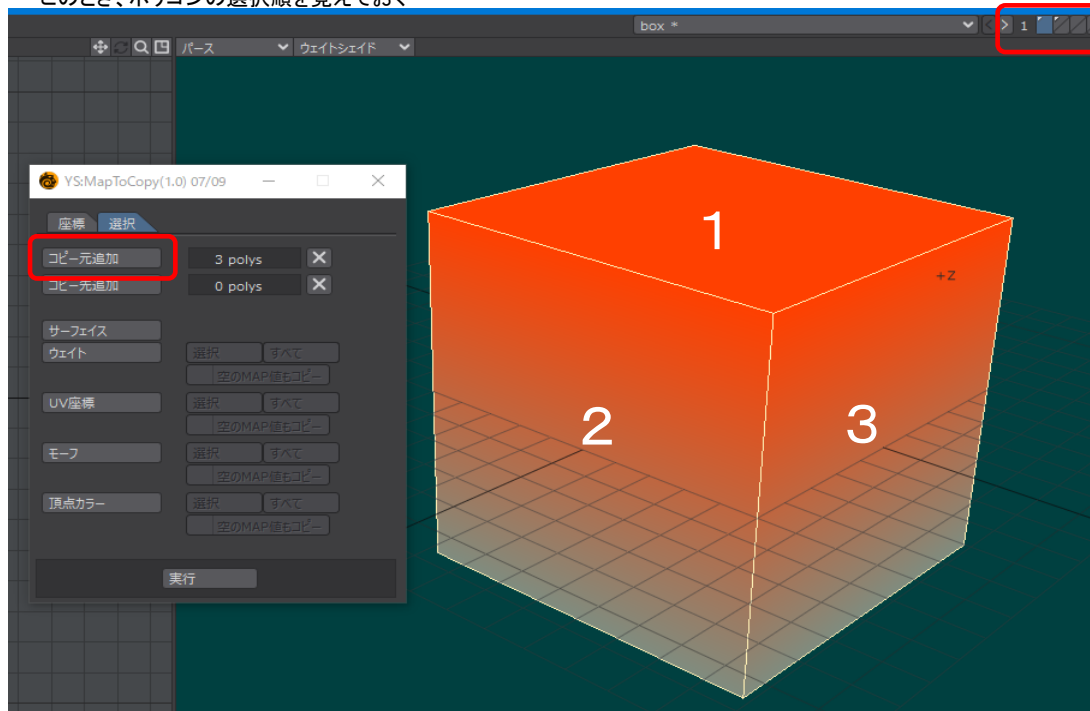
・ポリゴン選択モード



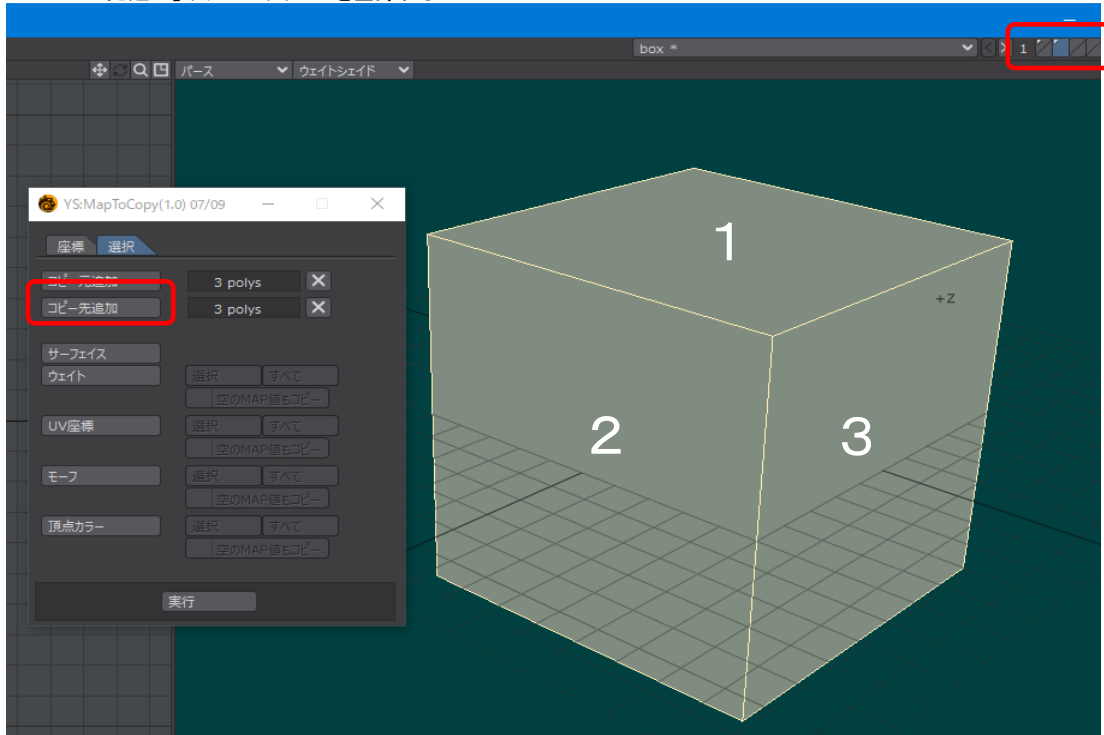
ポリゴン選択モードでは対象を直接選択するため、コピー先レイヤー、閾値の設定は無視され、選択ポリゴンが同じ場所にあるものという前提で処理します

・使用方法

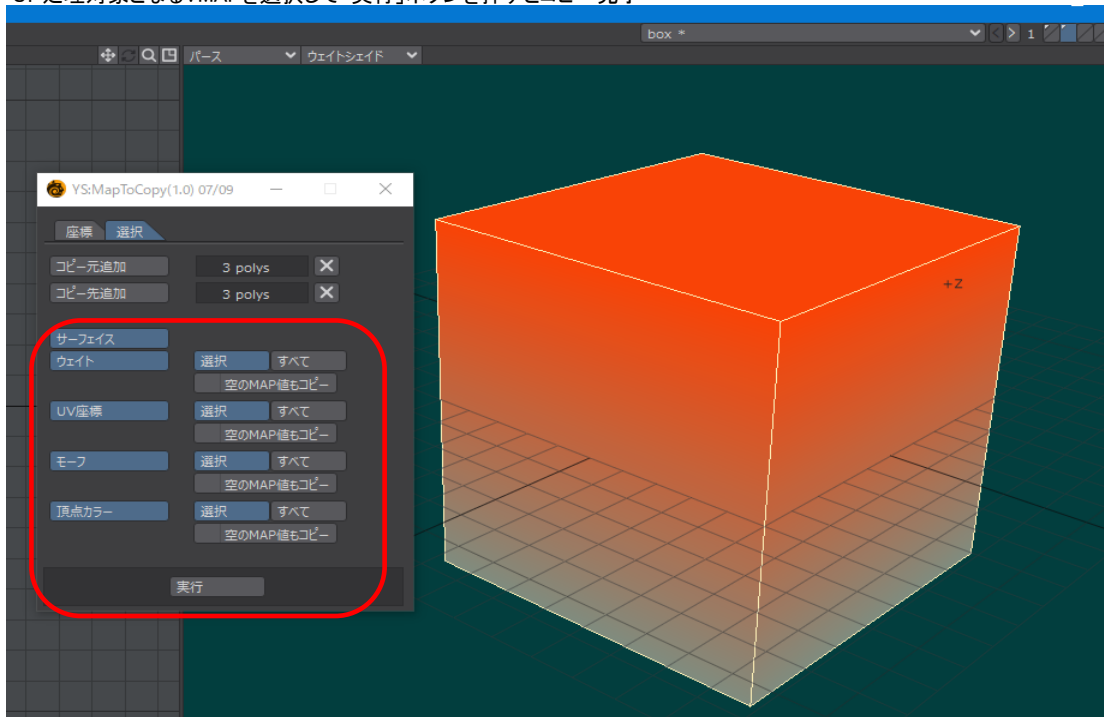
1. コピー元のレイヤーを表示して対象となるポリゴンを選択、「コピー元追加」ボタンでポリゴンを登録する
このとき、ポリゴンの選択順を覚えておく



2. コピー先レイヤーを表示し、コピー元で選択したポリゴンに対応するポリゴンを同じ順序で選択、「コピー先追加」ボタンでポリゴンを登録する



3. 処理対象となるVMAPを選択して「実行」ボタンを押すとコピー完了



4. 補足

- ・コピー元、コピー先のポリゴン登録はどちらを先に行っても構いません
- ・「×」ボタンで登録ポリゴンをクリアします
- ・「1ポリゴンを選択して追加ボタン」の繰り返しで複数ポリゴンを登録することもできます
- ・ポリゴンの頂点座標については、選択した各ポリゴン単位に絞って最も近い頂点を探すため、ポリゴン形状が大きく異なる場合は正常にコピーされない可能性があります
- ・コピー元とコピー先の選択ポリゴン数が異なる場合は少ない方の数で処理します
- ・座標モード、ポリゴン選択モードのどちらでもマップ値がうまくコピーできない場合はコピー先のマップ値をクリア(デフォルトショートカット"/")してから実行してみてください